



燃えた運動会！ご声援に感謝！

9月19日(土)は、絶好のお天気のもと、運動会を実施することができました。あらためて、温かいご声援に感謝いたします。

今年の運動会は、新型コロナウイルス感染防止のため、競技内容やプログラムを工夫し、午前中の開催としましたが、『感謝、感動、感激があふれる運動会』というスローガンのとおり、一人一人の笑顔が輝く運動会となりました。

2週間という短い練習期間でしたが、6年生が中心となってリーダーシップを発揮し、自分たちで運動会を成功させようという強い気持ちが伝わり、頼もしく感じました。特に応援団の練習では、下級生にやさしく丁寧に、わかりやすく指導する姿があり、見ていてすがすがしさを感じました。

23日(水)の朝、運動場で解団式を行いました。団長から「運動会は楽しかったですか？」という質問に全員が手を挙げていました。どの子もやり終えた達成感や満足感を得ることができたのではないのでしょうか。運動会の頑張りをこれからの生活に生かしていくよう励ましています。

保護者の皆様には、9月5日に行った美化作業、準備や後片付け等、ご理解とご協力に深く感謝申し上げます。



コロナ禍の差別や偏見をなくすために



9月24日の熊日朝刊では、県独自の感染リスクレベルを最上位のレベル4(特別警報)からレベル3(警報)にした旨の記事がありました。県内感染者5日連続ゼロを受けての対応と思われませんが、決して油断はできない状況に変わりはありません。

新型コロナの世界的な感染拡大により、私たちは「新しい生活様式」(マスク着用、三密を避けるなど)をはじめとする日常生活の変化に対応していかなければなりません。

一方で先の見えない不安や恐怖等から、新型コロナウイルスの罹患者、医療従事者やその家族への誹謗中傷(差別、偏見)という問題が全国各地で発生しています。例えば、感染者の自宅に石が投げ込まれたり、医療従事者の子供が学校で「バイキン」と呼ばれたり、インターネット上の悪質な誹謗中傷が後を絶たない状況があります。

そこで学校では、各学年の発達段階に応じて次のような指導をしています。

- ①新型コロナウイルスについて正しい知識を身につけさせること。(予防を徹底しても、誰もが感染する可能性があること)
- ②感染した人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、早く治るよう励まし、治って戻ってきたときは温かく迎えること。(相手の立場で考えること)
- ③誤った情報や不確かな情報に惑わされることなく、科学的根拠に基づいた行動をとることが大切であること。

これからますます予測困難な時代を生きていく子供たちが、必要な力を身につけていくことができるよう、ご家庭のご協力をお願いいたします。